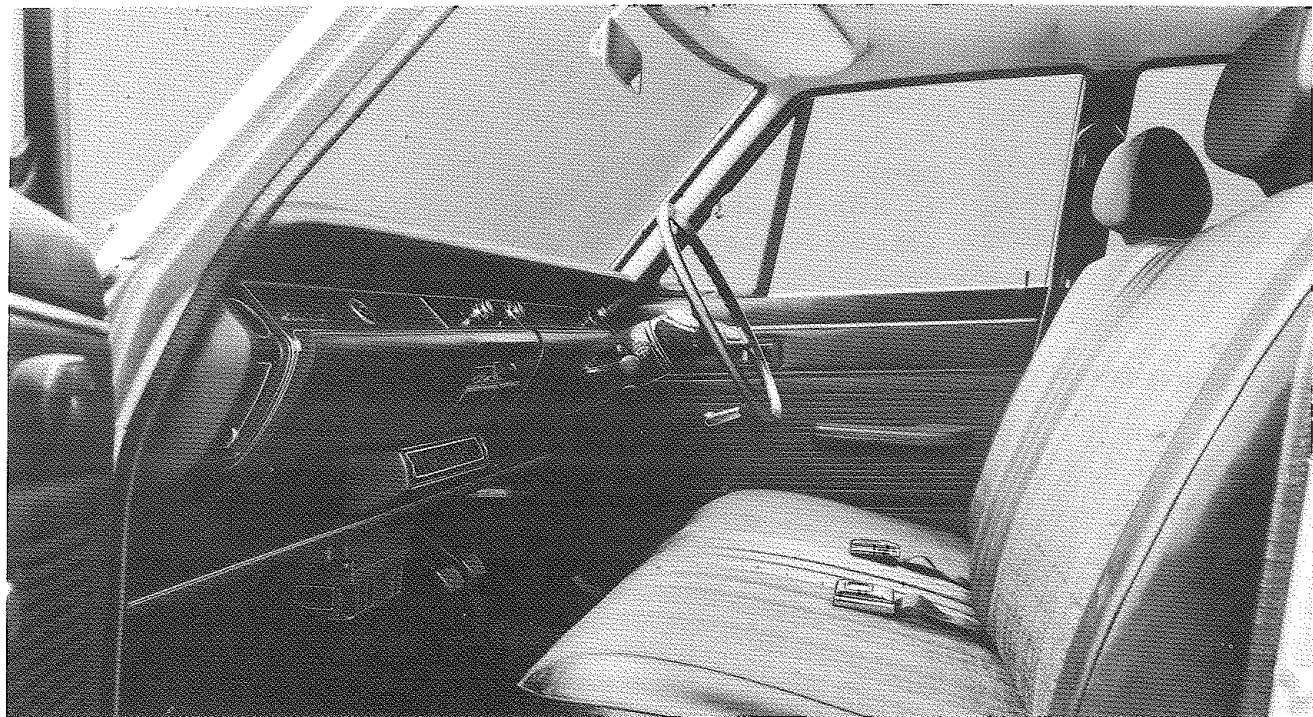


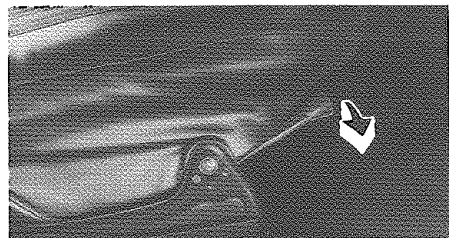
# 内装関係

CORONA *MARK II* VAN・PICK-UP



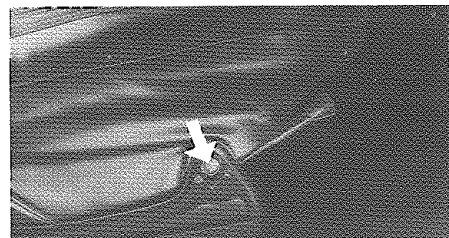
# シート

## ■フロント・シート前後位置調整



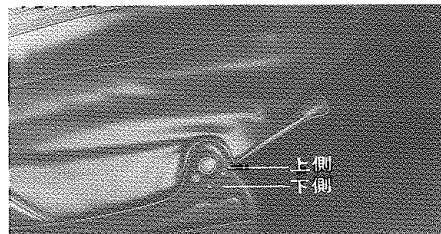
シート下のレバーを外側に押している間シートを前後に動かせます。レバーから手をはなすと固定されます。

## ■フロント・シート背もたれの角度調整



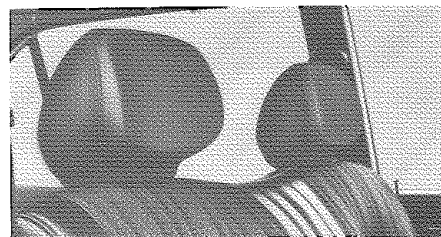
シングル・ピックアップ車はレバーを押して、シート・バック〈背もたれ〉を前に倒す

ことができます。



ダブル・ピックアップ車はレバーを後側におさえてシート・バックを前に倒します。助手席側シートはシート・バックをいっぱい前に倒すと、前に押し出すことができますので後席の乗り降りに便利です。シート・バックを起こして後に押し、もとの位置で固定します。

## ■ヘッド・レスト



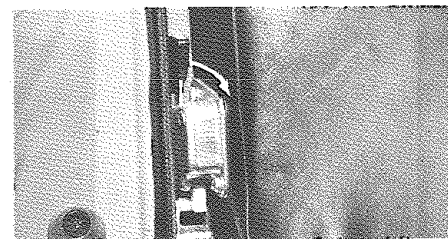
ヘッド・レストは上下2段に調整できます。ヘッド・レストの中央が耳の上端付近になるように高さを調整してください。

下の位置から上……そのまま引き上げる。上の位置から下……軽く前に押さえて押し下げる。

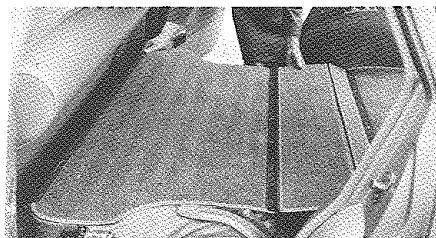
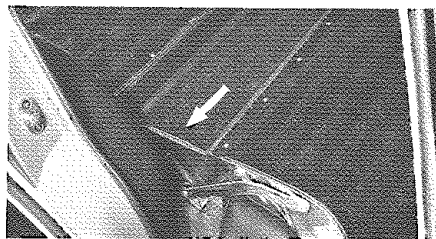
ヘッド・レストにできるだけ頭を近づけた状態で運転してください。

取りはずすときはヘッド・レストを前側に押さえながら引き抜きます。

## ■リヤ・シート



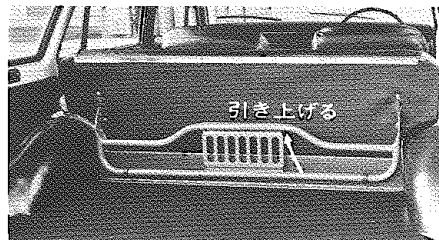
シート・バックは前に倒すことができます。シート・ロック・レバーを前にいっぱい引き、シート・バックを倒します。



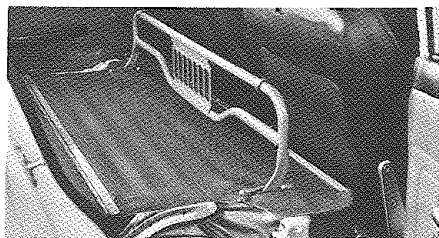
シート・バックを起こすときは、中央のパネルを持ち上げて起こします。

シート・バックは後に押えつくと自動的に固定します。

### 〈セバレート・シート車〉



リヤ・シート・バックを倒すときは、シート・バックの裏のハンドルを上へ引き上げてから前に倒します。



シート・バックを倒したときは中央部のパネルを押さえつけ固定し、つぎにハンドルをいっぱい起こしてください。

シート・バックを起こすときは、まず中央部のパネルを起こしてからシート・バ

ックを起こします。シート・バックをいっぱい起こしてから、ハンドルを倒し、シート・バックを押さえつけて固定します。

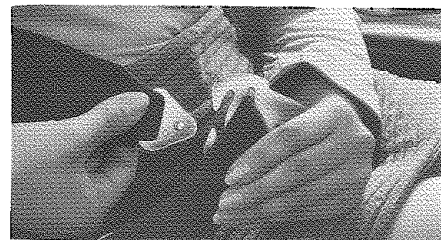
### 〈注意〉

シート・バックを起こすとき、先にハンドルを倒すとシート・バックを起こしあと固定することができません。

### ■セーフティ・ベルト

セーフティ・ベルトを装着するには次のようにします。

肩掛けベルトをバックル・プレートに差し込みセットする。



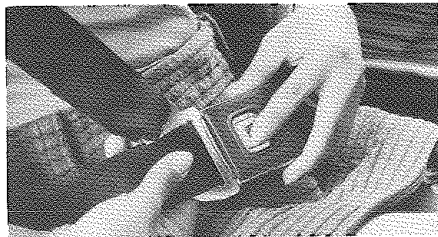
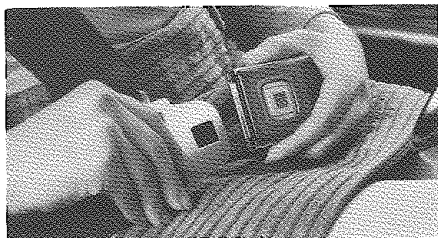
バックル・プレートをバックルに押し込んでセットする。

ベルトの調整を行なう。

肩掛けベルトの長さ調整はベルト上部で行ないます。

腰ベルトの調整はベルトに対しバックルを直角に持ちベルトの端を引いて行ないます。

ベルトはバックル・プレート側が巻き込み式になっていますのでいっぱい引き出した状態で長さを調整してください。



ベルトの取りはずしは、バックルのボタンを押してロックをはずします。

肩掛けベルトはバックル・プレートからはずす必要はありません。

リヤ・シートにもセーフティ・ベルトはオプションで取り付けられます。

#### 《注意》

セーフティ・ベルトはオプション装備です。

# 装備品

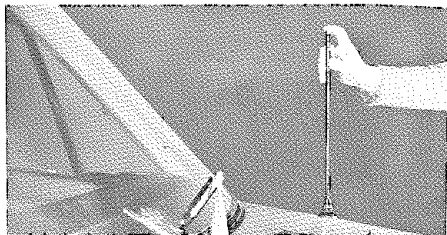
## ■ ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに使えます。

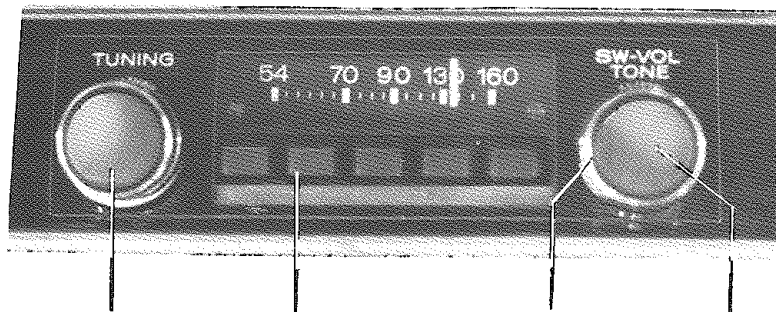
スイッチとアンテナ……………

スイッチを押すと電源が入り、同時にアンテナ1段目までとび出します。

もう一度スイッチを押すと電源が切れます。このときアンテナは下がりません。アンテナは、手で長く引っぱり出せますが普通なら1段目で充分です。



いっぱい押込むと、鍵がかかり、引き出せなくなります。



選局ダイヤル

選局ボタン

音質調整つまみ

スイッチとボリューム

### 選局のしかた

- A. 選局ダイヤルをまわす。
- B. 選局ボタンを押す。この場合には、あらかじめ、セットした局が聞けます。

### 選局ボタンのセット

ボタンの一つを引き出し、選局ダイヤルであわせ、ボタンをいっぱい押し込んでください。あとのボタンも同じ方法でセットできます。

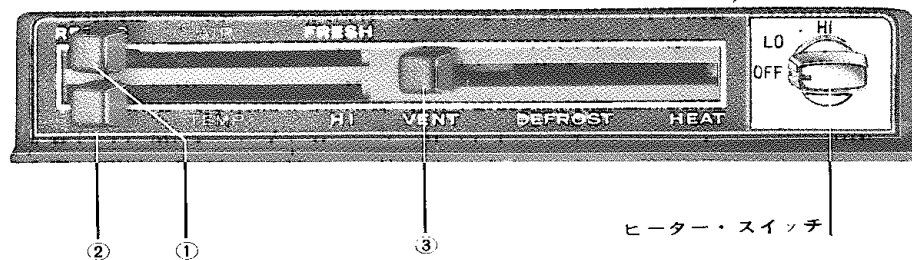
### スイッチとボリュームの調整

押しボタン式スイッチです。スイッチを右にまわすほど音が大きくなります。

### 音質の調整

音質調整つまみを左にまわすほどやわらかい感じの音になります。

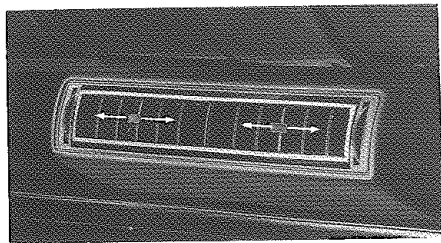
## ■ ヒーター



ヒーターの操作は下表のとおりです。

レバー類	操作位置			
ヒーター・スイッチ	OFF	LO	●	HI
		弱風	中	強風
① 内外気切替レバー	RECIRC ↔ FRESH 内気循環 ↔ 外気導入			
② 温度調整レバー (頭寒足熱暖房)	LO ← → HI 温度が低い    温度が高い			
③ 風出口切替レバー	VENT ↔ DEFROST ↔ HEAT 空気循環 ↔ ガラスの曇り止め ↔ 室内暖房			

## ■ベンチレーション・ルーバ



印を左右に動かすことにより風の向きを左右に、ダイヤルをまわすことにより上下に変えることができます。

### 夏期、くもり止めに使うには

ヒーター・スイッチを入れ、①をFRESH ②をLO、③をDEFROSTにしてください。

### ブースト・ベンチレーション〈強制ベンチレーション〉

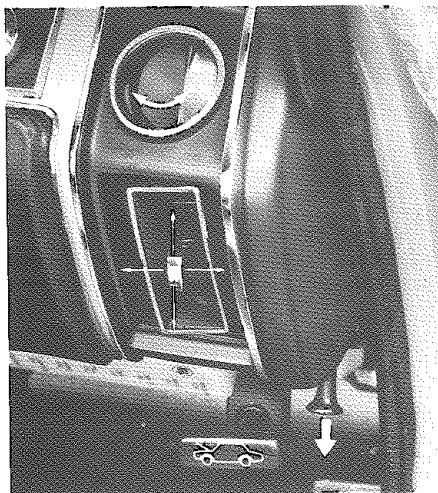
夏期にはベンチレーションとしても使用できます。

ヒーター・スイッチを入れ①をFRESH ②をLO、③をVENTにしてください。お車が停止していても、ヒーター・モーターを利用して車外の新鮮な空気を導き

入れることができます。

吹き出し口の角度を変えて風向きを変えることができます。

## ■カウル・ベンチレーター

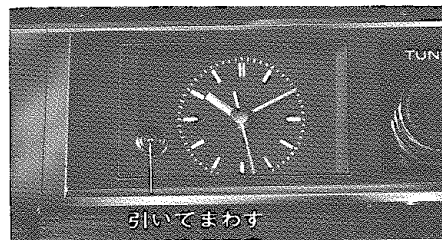


ベンチレーター・ボタンを引くとルーバーから車外の空気が入ってきます。ルーバーからの風向きは、バルブの向きを変えると上下左右に変えられます。ルーバーからの風が不要のときは、バル

ブを用じます。

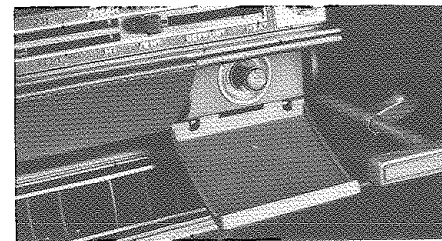
サイド・ベンチレーターの風向きは、つまみを上下左右に動かして調整します。

## ■時計



電気時計です。時刻の調整はつまみを引いてまわして行ないます。

## ■シガレット・ライター



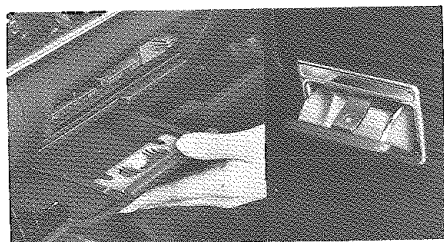
カバーは上側を手前に引いてあけます。シガレット・ライターを押し込んでくだ

さい。しばらくすると自動的に元の位置までとび出します。このときすぐに抜き出して使用してください。

#### 〈注意〉

押し込んだまま押さえているとライターを傷めるもとになりますから、押し込んだら手をはなしてください。

#### ■灰皿



#### フロント：

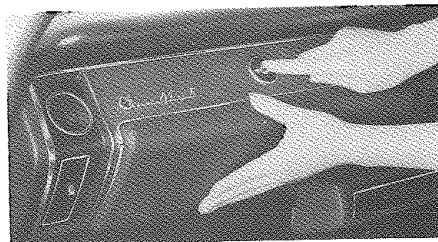
灰皿の下側に手をかけて引き出します。清掃するときは、下に押さえるようにして引き出します。

#### リヤ：

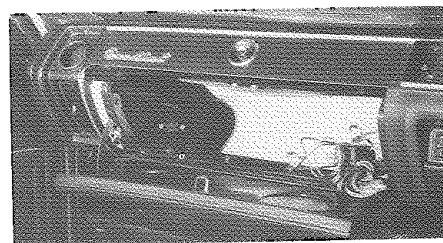
清掃するときは、タバコ消しを押えてはずします。

取り付けるときは、フロント、リヤともに、下側の二つの突起をボデー側に合わせてタバコ消しを押さえながら押し込みます。

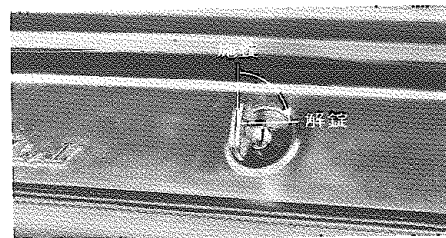
#### ■グローブ・ボックス



ボタンを押して開いてください。



グローブ・ボックス上壁のマップ・ホルダーを利用して、車検証などを入れてください。

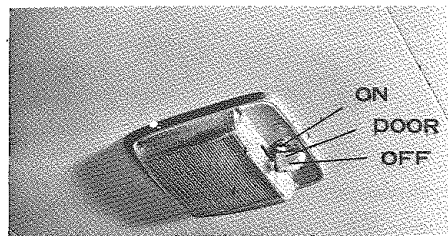


ソケットにはいつも電気がきています。インスペクション・ランプを差込めば点灯します。

ライト・コントロール・スイッチがONのときに、ふたを開くと、マップ・ランプがつきます。

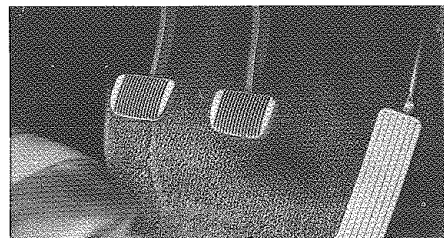
グローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーで行ないます。

## ■ ルーム・ランプ



DOORの位置では、ドアを開けたときに、ONの位置では常にランプが付きま

## ■ フロア・カーペット

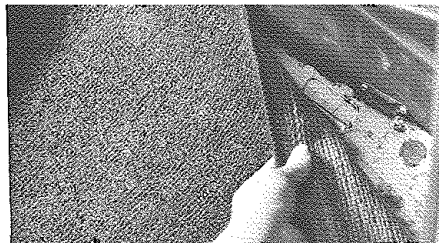


フロア・カーペットをはずすときは……

1. アクセル・ペダルをはずします。ペダルの上側を押さえ、下側を引いてはずします。次にペダル上側を下に押さえ

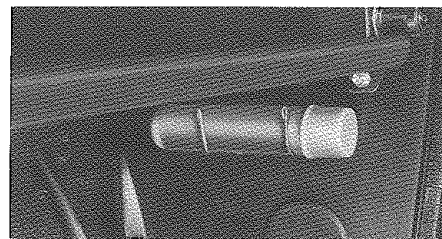
るようにして、ペダル裏側のワイヤーをアクセル・リンクからはずします。ペダルをつけるときは、ペダル裏側のワイヤーをアクセル・リンクにかけてから、ペダル下側の2つの溝にボデー側のノブを合わせて前方に押し込みます。

2. フロア・カーペットをはずします。フロントのカーペットは計器盤下前方がマジック・ファスナーで止めてあります。フロント・シートの下はワイヤー・フックがついていますのでワイヤー・フックをはずしてから取外します。



リヤのカーペットは後側がワイヤー・フックで止めてありますので、ワイヤー・フックをはずして取外します。

## ■ 保安炎筒〈発炎筒〉



保安炎筒は踏切り内での故障など非常事態が発生したときにご使用いただく非常信号用具です。

保安炎筒は運転席足元、右側に取付けてあります。外すときには上に押し上げてワイヤー・クランプから外します。使用方法は保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万に備えてください。

### 《注意》

保安炎筒には有効期限があり、本体底部に明示されていますのでご注意ください。